第２６回　ヨウ素学会シンポジウム

◆ 日　時 ： 2023 年 9 月 15 日（金） 9:00～17:10
◆ 場　所 ： 千葉大学　西千葉キャンパス　けやき会館
◆ 主　催 ： ヨウ素学会
◆ 共　催 ： 千葉大学、(公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会
◆ 協　賛 ： (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、
(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学
千葉大学ソフト分子活性化研究センター

＜Ⅰ部～Ⅳ部：講　演＞

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00～9:05	挨拶	横田善行　会長		
Ⅰ部： 座長　(北村二雄)					
①	9:05～9:40	招待講演	Hypervalent Iodine Compounds: Reagents of the Future	Viktor V. Zhdankin	University of Minnesota Duluth
Ⅱ部： 座長　(飯田圭介)					
②	9:40～9:55	一般講演	回帰分析により最適化した超原子価ヨウ素による アルケンの 1-フルオロ-1-スルホニロキシ化	藤江昌樹・○西本能弘・安田　誠	阪大院工
③	9:55～10:10	一般講演	三価ヨウ素求電子剤を用いた芳香族化合物とイナミドとのフリーデル・クラフツ型アルケニル化反応	○菊池　隼・長田透弥・伊藤慎庫・吉戒直彦	東北大院薬・南洋理工大
④	10:10～10:25	一般講演	酸・塩基複合型 6-ヨード-2-ピリドン触媒による 二重活性化機構を鍵とするエステルのアミノリシス	○山田　健・岡本専太郎・波多野　学	神戸薬大・神奈川大化学生命
⑤	10:25～10:40	一般講演	Mechanochemical Organic Reactions Employing Iodine Reagents	○Davor Margetic	Rudjer Boskovic Institute
Ⅲ部： 座長　(石原一彰)					
⑥	10:40～11:15	招待講演	ヨウ化ペルフルオロアルキルを活用した 可視光反応の開発	矢島知子	お茶女大理
Ⅳ部： ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:20～12:15	22件×２分：55分（交代時間含）			

＜Ⅴ部：ポスター発表、企業展示＞　けやき会館レセプションホールにて

＊時　間　；展示　12:05～14:25・・・・・・発表と質疑（奇数番号のポスター13:15～13:50、偶数番号のポスター13:50～14:25）			
	ポスター発表	発表件数　39件	物理化学、有機化学、触媒化学、生物活性、利用、応用、実用品の開発と製品紹介　など
	企業展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示　（時間；随時）

＜Ⅵ部～Ⅷ部：講　演＞

	14:35～14:40	特別賞授与式（受賞者：佐久間　昭）、学会賞授与式（受賞者：南方聖司）			
Ⅵ部： 座長　(荒井孝義)					
⑦	14:40～15:20	受賞講演	ヨウ素ーヘテロ原子結合を鍵とする 有機合成手法の開発	南方聖司	阪大院工
Ⅶ部： 座長　(松本祥治)					
⑧	15:20～15:35	一般講演	フルオロヨードアルカンの用途探索	○岡　祐児・川邉康介	東ソー
⑨	15:35～15:50	一般講演	ヨウ素内包カーボンナノチューブを利用した 太陽光二酸化炭素還元触媒	○川崎晋司・石井陽祐	名工大
⑩	15:50～16:05	一般講演	液晶性や発光性をもつ置換型ポリアセチレンへの ヨウ素ドーピング効果と電磁気的特性	○駒場京花・大瀧雅士・熊井玲児・二森茂樹・後藤博正	筑波大院数理・KEK IMSS・NIMS
⑪	16:05～16:20	一般講演	ヨウ素･･･酸素ハロゲン結合に基づく有機極性結晶の 設計とトリボルミネッセンス特性	○大垣拓也・松井康哲・池田　浩	阪公大院工・阪公大RIMED
Ⅷ部： 座長　(海宝龍夫)					
⑫	16:20～16:55	招待講演	Supramolecular Assemblies Based on Iodine: Halogen Bonding at Work	Antonio Frontera	Universitat de les Illes Balears

※各講演時間は、質疑応答の時間５分を含みます。

16:55～17:10	ポスター賞発表

17:30～19:00	懇親会　（千葉大学生協フードコート２）

ポスター発表プログラム

○発表　13:15～13:50（奇数番号）、13:50～14:25（偶数番号）

番号前に「S」がある発表はショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
01	ジアリールヨードニウム塩を用いたアミドの *O*－アリール化反応 ～*O*－アリールイミノエーテルのメタルフリー合成～	○ BAE Taeho[1] ・ Elboray E. Elghareeb[1]・菊嶌孝太郎[1]・ 北　泰行[2]・土肥寿文[1,2]	[1]立命館大院薬・ [2]立命館大総研
02	*μ*-オキソ型超原子価ヨウ素触媒を用いた酸化的カップリング －含窒素ヘテロ環化合物の効率的合成－	○濱谷将太郎[1]・佐々裕隆[1]・ 平島　繭[2]・亀井杏奈[1]・ 花崎知則[2]・土肥寿文[1]	[1]立命館大院薬・ [2]立命館大院生命
S03	超原子価ヨウ素試薬を用いる2位置換ピペリジンの 環縮小反応	○髙島美怜[1]・三好　諒[2]・ 佐古　真[2]・有澤光弘[2]・ 村井健一[2]	[1]阪大薬・[2]阪大院薬
04	ベンズヨーダゾール試薬を利用したエステル化と アミド化反応	○吉村　祥[1]・Michael T. Shea[2]・齊藤亜紀夫[3]・Viktor V. Zhdankin[2]	[1]青森大薬・[2]UMD・ [3]東農工大院工
05	*gem*-ジヨードニオアルケン類の合成	○松本拓也[1]・栗林兼続[1]・ 熊田侑戯[2]・藤田　光[2]・ 三代憲司[2]・国嶋崇隆[1,3]	[1]金沢大院医薬保・ [2]金沢大新学術・ [3]神戸学院大薬
06	超原子価ヨウ素化合物によるジイニル化を経由する ビトリアゾール合成法	○多田教浩・伊藤彰近	岐阜薬大
07	超原子価ヨウ素試薬を用いるヒドロキノン-シリルエノール エーテルの酸化的環化	○熊本卓哉・三宅弘城・ 中嶋　龍	広島大院医系科学
08	三価の超原子価ヨウ素試薬とヨードホルムを用いた 脂肪族カルボン酸の常温脱炭酸ヨウ素化反応	○宮本和範[1]・坂本京花[1]・ 久保田眞嵩[1]・松永忠史[1]・ 内山真伸[1,2]	[1]東大院薬・ [2]信大 RISM
09	ヨウ素を用いるアルケンのフッ素化反応	○北村二雄・小山田重蔵	佐賀大理工
S10	三価ヨウ素触媒によるアリール基導入を伴う フラン合成法	○馬越優貴・坪内　彰・ 齊藤亜紀夫	東農工大院工
S11	イミノヨーダン触媒による *N*-スルホニルイミン合成	○手塚瑶子・砂川　駿・ 坪内　彰・齊藤亜紀夫	東農工大院工
S12	銅/ヨウ素協奏触媒を用いるエナンチオ選択的 酸素酸化的環化反応	○松山俊輝・加藤丈裕・ ウヤヌクムハメット・ 石原一彰	名大院工
13	キラルスズアルコキシド触媒を用いたアルケニル エステル類のα-ヨウ素化反応	○齋藤悦志[1]・渡邊孝道[2]・ 緑川晃二[2]・柳澤　章[3]	[1]千葉大院融合理工・ [2]日宝化学・ [3]千葉大院理
14	キラルハロニウム塩触媒による連続不斉四置換炭素構築	○青野真穂・吉田泰志・ 三野　孝	千葉大院工
15	トリスペンタフルオロフェニルボラン触媒による ヨードシアノ化	○古澤郁実・鈴木拓己・ 荒井孝義	千葉大院理
16	1,3-ジヨード-5,5-ジメチルヒダントインによる電子豊富 フェノール基質のパラ位選択的ヨウ素化反応	○曹　瑋杰・荒井孝義	千葉大院理
S17	Lewis 酸－超原子価ヨウ素(III)を利用したエナンチオ選択的 酸化的アリール転位反応	○笠原ほのか・西口由菜・ 森山克彦	千葉大院理
S18	ヨウ化物イオン触媒を用いた酸素酸化によるテトラヒドロ イソキノリン誘導体の光応答型脱水素型クロスカップリング 反応	○栗原ひかり・森山克彦	千葉大院理
S19	ジアリールメチレンアミノベンズヨードキソロンの 光励起を利用したα-アミノオキシカルボン酸の δ位 C(sp^3)–H アミノ化	○杉村茉莉・清川謙介・ 南方聖司	阪大院工

S20	ジアリールメチレンアミノベンズヨードキソロンの光励起によるカルボン酸を用いるスチレン類の三成分カルボアミノ化	○奥松大地・清川謙介・南方聖司	阪大院工
S21	スチレン類及び電子不足オレフィン類への光ヨウ化ペルフルオロアルキル化反応	○山口愛織[1]・大藤　柚[1]・犬飼紀香[1]・海宝龍夫[2]・矢島知子[1]	[1]お茶女大院理・[2]合同資源
S22	*N*-アシルイミノヨージナン反応剤による不活性アルケンのアミノ化反応の開発	○小林祐輔・上田　敬・浜田翔平・古田　巧	京都薬大
S23	ヨウ素存在下でのリンを含むインターエレメント化合物の簡便な合成	○藤原孝翼[1]・山本結生[2]・田中　遼[3]・渡辺日菜子[1]・小川昭弥[4]	[1]阪公大院工・[2]山梨大院総研・[3]阪府大院工・[4]阪公大研究推進
S24	脱芳香族的ヨード環化反応によるスピロ炭素環の合成	○沖津貴志[1]・南原諒子[2]・上松万寿実[2]・和田昭盛[2]・林　琴葉[1]・矢倉隆之[1]	[1]富山大薬・[2]神戸薬大
S25	ヨウ化水素酸によるスチレン類の還元反応と反応機構	○深谷友亮[1]・丸本颯人[1]・赤染元浩[1]・海宝龍夫[2]・松本祥治[1]	[1]千葉大院工・[2]合同資源
S26	安定なセレノシステインヨウ化セレネニルを活用した甲状腺ホルモン活性化酵素作用機序に関するモデル研究	○鍬野　哲・増田涼介・菊島　潤・後藤　敬	東工大理
S27	含ヨウ素系非対称チエノアセン類の結晶構造と OFET 特性	○羽佐田麻衣[1]・松永　周[2]・蓮見　翔[2]・熊木大介[1]・時任静士[1]・片桐洋史[1,2]	[1]山形大院有機・[2]山形大院理工
S28	ヨウ素化されたチアゾロ-3-リウム-4-オラートの結晶構造と電気伝導性	○鈴木　駿・赤染元浩・松本祥治	千葉大院工
29	ポリアニリンのヨウ素ドーピング	○駒場京花・後藤博正	筑波大数理物質
S30	含ハロゲン分子と高分子ゲル間のハロゲン結合挙動	○竹浪鷹秀・呉羽拓真	弘前大院理工
31	単層カーボンナノチューブのヨウ素吸蔵特性を利用した太陽光エネルギー回収サイクル	○加藤瑠菜・小林謙太・馬越　翠・石井陽祐・川崎晋司	名工大院工
32	単層カーボンナノチューブに内包されたヨウ素の構造と電池電極反応	○大島芽依・横谷優奈・横関美咲・石井陽祐・川崎晋司	名工大院工
S33	$CH_3NH_3Pb(Br_xI_{1-x})_3$ の光照射下におけるヨウ素イオンの空間パターン形成	○野村晃陽・亀山尚宜・山田泰裕	千葉大院理
S34	極性溶媒フリー室温合成法でのヨウ素欠陥補填による赤色発光ペロブスカイト量子ドットの高性能化	○吉田謙伸[1]・大下直晃[1]・浅倉　聡[2]・千葉貴之[3,4]・増原陽人[1,4]	[1]山形大院理工・[2]伊勢化学・[3]山形大院有機シス・[4]山形大有機材料シスセ
35	化学反応自動探索プログラムを用いたアセトニトリル溶液中における I_7^- の構造異性体に関する理論的考察	○須田佳代・横川大輔	東大院総合文化
S36	PbS の熱電性能に及ぼすハロゲンイオン固溶の影響	○林　晶斗・篠原悠佑・馬場　樹・五十嵐　香	千葉工大工
S37	ヨウ素処理による原子核乾板の表面銀の化学的除去（2）：溶液浸漬法	○久下謙一・有賀昭貴・早川大樹・奥村虎之介・金井　巧・三浦真登・奥井一暁・野中元哉・藤森春陽・宮本　隼	千葉大理
S38	反復利用型 PVA-I ゲル線量計を用いた 3 次元線量評価	藤野圭介[1]・○林　慎一郎[2]・栗原凌佑[1]・池田幸恵[1]・小野　薫[1]・廣川　裕[1]	[1]広島平和クリ・[2]広国大保健
39	ヨウ化物中性子シンチレータの育成とその光学評価 II	○黒澤俊介[1,2,3]・藤原千隼[4]・浦野雄介[2,5]・山路晃広[1,2]	[1]東北大 NICHe・[2]東北大金研・[3]大阪大レーザー研・[4]都産技研・[5]東北大工

企業など展示

出展企業	タイトル
K&O ヨウ素株式会社	ヨウ素の製造、かん水中ヨウ素自動測定装置
株式会社　合同資源	ヨウ素化合物事業紹介、及び製品紹介
日宝化学株式会社	ヨウ素系・シアン系製品のご紹介

会 場 案 内

千葉大学西千葉キャンパス
けやき会館

・**ＪＲ総武線各駅停車 西千葉駅**
（西千葉駅には特急、快速電車は停車しませんのでご注意下さい）

・**京成電鉄 みどり台駅**
それぞれ徒歩 10 分

＜参考＞

〇東京駅より約 1 時間
総武快速線（稲毛駅乗換）総武線各駅停車（西千葉駅下車）

〇羽田空港より約 90 分
京浜急行（品川駅乗換）横須賀・総武快速線（稲毛駅乗換）総武線各駅停車（西千葉駅下車）

〇羽田空港より約 100 分
リムジンバス幕張･千葉方面（千葉駅下車）総武線各駅停車（西千葉駅下車）

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

お問い合せ先

ヨウ素学会事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学　千葉ヨウ素資源イノベーションセンター内

TEL/FAX ： 043-290-3402

E-mail ： sis@fiu-iodine.org